



古代、国際色あふれる豊かな文化が花開いた奈良。
いにしへの都を舞台に繰り広げられる、竜神に愛された乙女の物語。
日本の伝統文化の美とバレエ芸術が融合し、世界の人々の心に響く
壮大なバレエファンタジーがここに誕生します。



日本から世界に発信する新作バレエ

牧阿佐美バレエ団創立60周年を迎える今年、牧阿佐美が新たな全幕バレエを制作します。

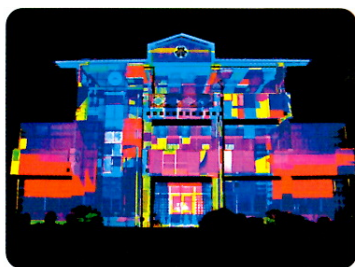
橘秋子の代表作「飛鳥物語」は音楽に雅楽、舞踊に舞楽の優雅さを取り入れ1957年に初演。62年には片岡良和氏が音楽を作曲、この作品でバレエ団は芸術祭文部大臣奨励賞、64年東京オリンピック特別公演やNHKでの放映など、作品の芸術性と創造性が高い評価を獲得しました。その後、牧阿佐美の演出振付による最後の上演となっていた86年から今年、30年振りに、新たに制作する注目の舞台です。これまでに数々の全幕バレエを制作してきた牧阿佐美は今回、人生最後の集大成として、世界に通用する日本のバレエ作品を生み出すことを目指して制作に着手。物語は古代の日本、大陸との交流盛んな時代として描かれる飛鳥を舞台に、芸術を象徴する竜と人間のドラマが繰り広げられます。



「飛鳥物語」1986年公演より



最新の映像演出が創り上げる、バレエの新しい世界



プロジェクションマッピング by ZERO-TEN

本作品の美術には、日本を代表する洋画家、絹谷幸二氏が本作の為に作品「飛鳥に寄せて」を制作しました。これを基にした映像演出によって創り上げる舞台空間は、ファンタジーの世界に繋がる壮大ないにしへの都。日本が誇るオペラ・バレエの劇場、新国立劇場の充実した舞台空間で、古来の日本の美と最新のメディアアートが融合する新しいバレエの世界が誕生します。

ZERO-TEN (映像演出)

「MAKE NO BORDER」をコンセプトに、企画から制作までトータルに手がけるクリエイティブ集団。プロジェクションマッピング・舞台演出やイベント企画、Web・グラフィック・CM制作、イルミネーションを使った空間演出、ハード機器の設計からソフト制作など、多岐にわたる制作プロデュースを行っている。
<http://zeroten.jp/>



主演：ルンキナ&スクヴォルツォフ、菊地研

美しい舞女には、世界的バレリーナとして人気を誇るスヴェトラナ・ルンキナ、パートナーにはボリショイバレエのプリンシパル、ルスラン・スクヴォルツォフが登場します。古代日本が舞台のファンタジー作品は、これまでにない新しい挑戦として注目の舞台となるでしょう。そして、物語の核となる孤高の存在、竜神には牧阿佐美バレエ団のプリンシパルとして存在感を増す菊地研。芸術の神として描かれる竜の化身を通して伝えるもの。牧阿佐美が繰り広げる大いなる創造の世界は、時代を超えて、国を超えて、人々の心に響く壮大なファンタジーとなるでしょう。